

アンケートにあった質問

	質問	回答	回答者
1	オランウータンの研究をされている現地では、定点カメラなどでの記録は禁止なんでしょうか？また、動物それぞれに研究者がいるようなお話しでしたが、その人達での交流だったり、場所の取り合いなどあったりするのでしょうか？	定点カメラを設置することはできますが、高温多湿の熱帯雨林ではカメラがすぐに壊れます。メンテナンスできる人間がいないと、カメラを維持できません。 ダナムバレイには、植物や昆虫、マレーグマやシベットなど他の動植物を研究する研究者も入れ替わり立ち替わりやってきます。場所のとりあいはいらないわけではないですが、取り合いするよりも、研究テーマや計画を調整して、他の研究者とも一緒に調査できるように工夫する場合があります。	久世
2	オランウータンの食べ物がほとんど菜食であったことと、その他の3%は何か？が気になります。繁殖期に、鳥とか鳥の卵などの肉食でしょうか？	その他の3%は、花（フタバガキ科やマメ科）、着生植物（ソル）、ショウガや竹の髄、土（ミネラルを摂取する為）等です。妊娠前や妊娠中に肉食が増えるという報告はありませんが、スマトラ島の一部の地域では、果物が少ない時季にスローロリスを捕まえて食べます。鳥や鳥の卵を食べた観察の報告はほとんどありません。	久世
3	オランウータンを守るにはRSPO認証マークの付いた商品を買うのとほかの油を使っている商品を買うのではどちらがいいのですか。	難しい問題です。パーム油は、最も少ない面積で大量に油がとれる効率の良い作物です。パーム油と同じ量の大豆油や菜種油を作ろうとすると、ずっと広い面積の農地が必要になります（大豆も南米などでは熱帯雨林を切り開いて農園を作っています）。パーム油の代わりに別の油を使うことも、自然環境を破壊する可能性があり、油の使い方自体を見直す必要があるのかもしれない。	久世